

2025年度発達障害医学セミナー

発達障害児の知的機能の 理解とサポート

12/20(土)
10:00~17:30
定員 100名

会場 青山学院大学 青山キャンパス
〒150-8366東京都渋谷区渋谷4-4-25

参加費 一般会員 12,500円 ※準会員・賛助会員にご入会
賛助会員 11,250円 いただきますと
10%割引が適用されます。
(人数制限あり)

今回の医学セミナーのテーマは、発達障害児(者)の知的機能・適応行動の制約の理解とサポートとしました。現場では、知的障害の有無で支援を変えることがしばしばありますが、そもそも知的障害は単に知的機能だけでなく適応行動の明らかな制約があるものです。適応行動の制約は発達障害のすべてのタイプに生じうるものです。

診断タイプ別ではなく、発達障害に普遍的にみられやすい知的機能や適応行動の支援について、今回も著名な講師の先生方をお招きして、それぞれの視点で講義をいたします。さらに、今回初めての企画として、境界知能の当事者と家族に登壇いただき体験談をお話しいたします。

本セミナーを受講した皆さんに、実践や新しい知見をお伝えすることができて、明日からの臨床や支援の現場に、必ず役に立つのではないかと考えています。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

『知的障害の併存のある
発達障害児に対する地域支援』



本田 真美氏

あのあのねコドモくりにっく 院長
著書『小児リハビリテーションポケットマニュアル』『子どもの「ほんとうの才能」を最大限に伸ばす方法』

『療育手帳制度を考える：
支援の限界と課題』



前本 達男氏

国保旭中央病院小児科 医師

※登壇順不同

『知的障害・発達障害の人たちのQOL
はどうすれば保障できるだろうか?』



本田 秀夫氏

信州大学医学部
子どものこころの発達医学教室 教授
著書『知的障害と発達障害の子どもたち』『マンガでわかる 発達障害の子どもたち 自閉スペクトラムの不可解な行動には理由がある』

『発達障害とゲーム・ネット・スマホ
デジタル機器との付き合い方を考える』



吉川 徹氏

愛知県医療療育総合センター
中央病院子どものこころ科 部長
あいち発達障害者支援センター副センター長
著書『対話から始める脱! 強度行動障害』など

『境界知能;教育、福祉、医療から
見落とされた人』
※当事者との対談も予定



古荘 純一氏

公益社団法人日本発達障害連盟 理事
青山学院大学 教育人間科学部教育学科 教授
著書『境界知能』『DCD発達性強調運動障害』など